第3号 第3号 第3号 第6日 平成19年2月15日 第 6 板倉町教育委員会 文化財保護係 T E L 0276 (82) 1111 内157

板倉らしい風景

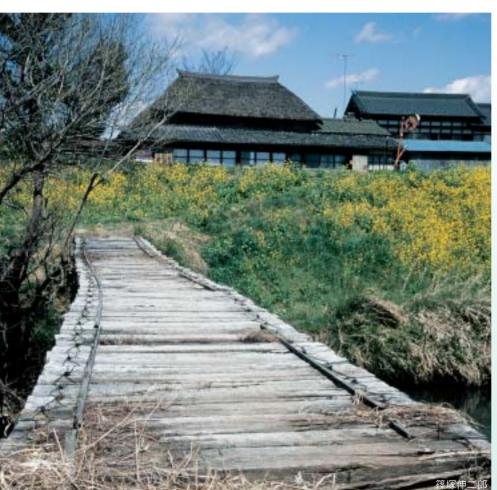
人が感じられる風景は

あったかい

通り前橋を海老瀬(通り)から下五箇にお嫁に行ったおばあさんが歩いているのを見か けたことがあります。何とも言えないゆったりした時間でした。

平成18年12月、役場職員を対象にアンケート調査を実施し、「板倉町で、最も美しい (好きな) ところはどこですか。」の問いには、「谷田川」「利根川」「田園」「渡良瀬遊水地のヨ シ原」があげられました。なかでも、谷田川(藤ノ木橋)からの眺めが最も多く、新緑や桜 並木が美しいとあります。そのような中で、通りと下五箇を繋ぐ通り前橋がありました。

写真は、愛好家の方々に、好きな風景の写真をご提供いただきました。ご協力に感謝申 しあげます。なお『みずば』第3~5号に掲載していきます。



「橋から飛び降りて、遊んだな」 「カタッケやシジミがたくさんとれたな」 「澄んでたものさ」 「藻がいっぱいで角が動かないほどだった」



「もぐり橋」「一本橋」などと 呼ばれてどのくらいたつだろう。



私は、昭和33年に板倉東中学校に新任として赴任した。 当時、部活動で、東中学校から、南中学校に練習試合に 何度も行った。自転車で、谷田川を渡るのに、この不安 定な木組みの橋を越えたものである。足の下から、ギシ ギシという音を聞きながら。今では、ほとんど使われて いないが、四万十川の沈下橋を思わせ、菜の花の咲く頃 は、一際、風情のある光景である。

(平成18年5月 宇治川哲也)





荒井 新一

「この杭は海老瀬 の集落を守ったもの だよ。」

行人沼に遺る杭列

下新田から上新田 まで、行人沼の北側 を通って、土手があ り、その土手の補強 材だと伝えられてい るとのことです。ま さしく、土地に割ま た、土地が語る歴 史です。



江戸時代から、この土地をみつめてきました。今から40年ぐらい 前まで、ここで泳いでいる子どもたちがたくさんみられたものです。 海老瀬の方から「昔、堤防は集落を守るためだったから、堤内とは集落側、堤外とは川側をさすけど、今は堤は川が決壊しないようにするものなんだよ。」と教わりました。そして「内郷」*とは、堤で囲まれている地域だから、そう呼ばれていると話されました。またしても先人たちの知恵をみた思いがします。

*国道354号線の小保呂の信号から東側周辺

八間樋堰

